

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 30 日

長野県知事 殿

提出者

住 所 長野県佐久市白田1335番地1

氏 名 有限会社アクア  
代表取締役 青柳敏孝

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0267-82-2622

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

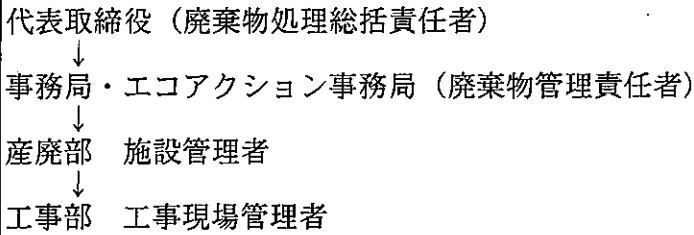
事業場の名称	有限会社アクア
事業場の所在地	長野県佐久市白田1335番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 22,438千円 (令和4年度)
③従業員数	20人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類 → 中間処理 (自社) → 再生資源化・焼却・埋立処理 木くず → 中間処理 (自社) → 木材チップ (再資源化) 金属くず → 中間処理 (自社) → 有価売却 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず → 中間処理 (自社) → 安定型埋立 がれき類 → 中間処理 (自社) → 再生砕石 (売却)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t
	(これまでに実施した取組)	
	分別解体の徹底。再生利用に努めている。主要工事である解体工事業においては、建設系廃棄物は着工前から事業規模に比例して発生し、排出抑制は困難ではあるものの、適正な工法により、減容しながら収集運搬し施設や周辺環境への負担を軽減している。	
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t
	(今後実施する予定の取組)	
	今後更なる取り組みにより、より効率の高い収集運搬と処理前の廃棄物の取扱い・処理手法を工夫し処理の迅速化・適正化を強化する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の分別収集運搬を徹底し中間処理時に人的及び処理工程に関わる資源のロスの低減を図っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
がれき類、アスコンからは、自社の中間処理施設で処理し他業者へ骨材として販売した。		
②計画	【目標】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
現状維持		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
自社の中間処理施設で再生材に処理した製品については、他業者へ骨材として販売した。		
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		
現状維持		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)  特に実施していない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)  実施する予定はない	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組)  委託契約書の締結から、処理業者・処理施設への立ち入りを行い、委託した産業廃棄物が適正処理されているかを、マニフェスト上のみでなく目視で確認し監理していく。	

## (第5面)

②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
<p>廃棄物の種類によっては、今後優良認定処理業者への処理委託を検討している。環境府負荷を低減しつつ物理的な距離を考慮し営業にも力を入れていきたい。</p>		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

実績・前年度産業廃棄物排出量  
計画・当年度産業廃棄物排出量の目標値

年度産業廃棄物処理計画書 (産業廃棄物の実績及び計画の量)

単位: t

産業廃棄物の種類	総排出量		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら燃回取を行った(行う)量		自ら行う中間処理		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託					
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
1 燃え殻																
2 汚泥	1.61	3.00														
3 廃油																
4 廃酸																
5 廃アルカリ																
6 廃プラスチック類	0.00	130.00														
1 紙くず																
2 木くず	330.49	280.00			2.20	140.00										
3 繊維くず	28.30	20.00			28.30	20.00										
4 動植物性残さ																
5 コムくず																
6 金属くず	16.962	20	15.142	20												
7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																
8 鉱さい																
9 がれき類	660.30	800.00	29.60	400.00												
10 家畜ふん尿																
11 家畜の死体																
12 動物糸回形不要品																
13 はいしん																
14 処分するため処理したもの																
合 計	1,037.66	1,253.00	0.00	0.00	0.00	0.00	75.24	580.00	0.00	0.00	962.42	673.00	0.00	0.00	0.00	

※ 総排出量=自ら再生利用を行った(行う)量+自ら中間処理により減量した(する)量+自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量+全処理委託量

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績(現状)を右に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- 「自ら再生利用を行った(行う)量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分をした量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。